

Ⅱ 調査結果の概要

1 概況

■発育状態調査

(1)身長

- ・前年度と比較すると、男子は5～6歳、8～9歳および16～17歳で前年度より低い数値となりました。女子は、6～13歳および15～17歳で前年度より低い数値となりました。
- ・全国平均値と比較すると、男子は5～6歳、8～9歳および13歳で低くなっており、女子は7～11歳および15～16歳で低くなっています。

(2)体重

- ・前年度と比較すると、男子は6歳、8～9歳および15歳で前年度より低い数値となっています。女子は、7～9歳、12～14歳および16歳で前年度より低い数値となっています。
- ・全国平均値と比較すると、男子と女子どちらもすべての年齢で全国平均値よりも軽い数値となっています。

(3)発育状態の世代間比較

子世代（令和7年度の調査結果）と親世代（30年前の調査結果）を比較してみると、身長の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、子世代が親世代よりも男子は1.1cm少なく、女子は0.3cm多くなっています。また、体重の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、子世代が親世代よりも男子が1.8kg、女子は1.2kg少なくなっています。

(4)肥満傾向児および痩身傾向児の出現率

- ・肥満傾向児の出現率を年齢別にみると、男子は12歳が11.89%、女子は11歳が9.56%と最も高くなっています。
- ・痩身傾向児の出現率を年齢別にみると、男子は15歳が7.77%、女子は12歳が6.34%と最も高くなっています。

■健康状態調査

(1)裸眼視力1.0未満の者

全国平均値と比較すると、「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、幼稚園で2.3ポイント上回り、小学校で2.5ポイント下回っています。

(2)むし歯（う歯）

全国平均値と比較すると、高等学校を除いたすべての学校種で全国平均値を下回っています。

(3)その他疾病・異常の罹患率

- ・全国平均値と比較すると、眼の疾病・異常、鼻・副鼻腔疾患およびぜん息の者の割合はすべての学校種で全国平均値を下回りました。
- ・アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園を除くすべての学校種で全国平均値を下回りました。
- ・心臓の疾病・異常の者の割合は、すべての学校種で全国平均値を上回りました。